

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

事業名（公財）セラミックパーク美濃負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3785)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

運営負担金	38,272 千円	（前年度予算額：	28,049 千円）
自主企画事業負担金	3,624 千円	（前年度予算額：	3,624 千円）
計	41,896 千円	（前年度予算額：	31,673 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	31,673	0	0	552	1,010	0	0	0	30,111
要求額	41,896	0	0	953	1,010	0	0	0	39,933
決定額	41,896	0	0	953	1,010	0	0	0	39,933

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

陶磁器（美濃焼）産業は東美濃地域に根付いた重要な地場産業であるが、ライフスタイルの変化による国内市場の縮小や海外廉価製品との価格競争激化などにより苦戦を強いられており、県内の製造品出荷額における構成比を比較すると、約20年前（H5：工業統計）には12.3%であったものが、現在は6.5%（R2：工業統計）まで落ち込んでいる。このため、商品開発の強化や新たな販路開拓などが課題となっており、地域の産業拠点施設でもあるセラミックパークMI NOの役割も重要性が増している。

(2) 事業内容

美濃焼産業・陶磁器文化の振興を目的に、平成14年にオープンした拠点施設「セラミックパークMI NO」の維持管理・運営及び地域・産業の振興事業を推進するため、同施設の指定管理者である（公財）セラミックパーク美濃に対し、維持管理、運営経費及び自主企画事業経費の一部を負担金として拠出する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- 負担金の充当先
 - [施設の維持管理、運営関係]
 - ・施設運営事業費（光熱水費、業務委託費等）、広報宣伝事業費、管理費（人件費、事務費）等
 - [自主企画事業関係]
 - ・イベント開催費（人件費、委託料、会場使用料等）
- 負担割合： 岐阜県33.0%、多治見市51.93%、土岐市9.27%、瑞浪市5.80%

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	41,896	運営負担金38,272千円、自主企画事業負担金3,624千円
合計	41,896	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ③ 県内産業の活力の強化と新事業展開の推進

(2) 後年度の財政負担

セラミックパークの施設運営等に要する必要最低限の経費のため毎年同額程度の経費負担が発生する見込み。

(3) 事業主体及びその妥当性

美濃焼産業の中心地である東美濃地域（多治見市、瑞浪市、土岐市）が当該事業をけん引しているが、美濃焼産業の振興は県の重要な施策でもあり、事業主体の一員として支援することは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国的にも珍しい陶磁器産業と文化の融合施設であるセラミックパークMINOを活用し、美濃焼はもとより、美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、岐阜県の産業、文化振興を目指します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	
					達成率	
①来館者数（単位：人）		225,417	170,000	170,000		

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>(1) 施設の維持管理 設備の保守管理、施設修繕の実施、職員巡視による安全確認の実施、警備の実施、敷地内里山も含む施設の清掃業務の実施、危機管理体制の整備、各種環境衛生管理関係法令の遵守など、24時間365日に渡り施設の安全及び維持管理を適切に実施した。</p> <p>(2) 施設の運営・催事誘致活動 貸出施設への催事誘致営業、来館者アンケートの実施、地元陶磁器業界との交流、現代陶芸美術館やレストランとの連携、作陶館の運営、ショップ及びギャラリーの運営、周辺里山での自然観察会の実施など、魅力と活気に溢れる施設づくりに努めた。 [来館者数の推移（現代陶芸美術館含む）] R2年度83,962人 R3年度94,992人 R4年度136,005人 ※R3は国際陶磁器フェスティバルの開催年</p> <p>(3) 自主企画事業 地元産業振興、文化振興、観光振興、地域振興を目的とし、以下の自主企画事業を実施しその達成に努めた。</p> <p>① 『美濃焼インキュベーション事業』【産業振興事業】 美濃焼の市場開拓と新商品開発を目的に、国内外のレクサス販売店舗を中心に展開される、レクサスのこだわりアイテムを揃えた「レクサスコレクション」に掲載する作家の提案を行った。 ・8社11アイテムが掲載。</p> <p>② 『セラパーク楽々市』【地域振興事業】 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響なく、毎月（第4日曜及びその前日の土曜日）開催することができた。多くの地元商店や住民の出店とともに、毎月2日平均で500名の来場があるなど、多くの来場者があった。</p>
	指標① 目標：170,000人 実績：136,005人 達成率：80%

令和5年度

(1)施設の維持管理

設備の保守管理、施設修繕の実施、職員巡視による安全確認の実施、警備の実施、敷地内里山も含む施設の清掃業務の実施、危機管理体制の整備、各種環境衛生管理関係法令の遵守など、24時間365日に渡り施設の安全及び維持管理を適切に実施した。

(2)施設の運営・催事誘致活動

貸出施設への催事誘致営業、来館者アンケートの実施、地元陶磁器業界との交流、現代陶芸美術館やレストランとの連携、作陶館の運営、ショップ及びギャラリーの運営、周辺里山での自然観察会の実施など、魅力と活気に溢れる施設づくりに努めた。

[来館者数の推移(現代陶芸美術館含む)]

R3年度94,992人 R4年度136,005人 R5年度136,676人

※R3は国際陶磁器フェスティバルの開催年

(3)自主企画事業

地元産業振興、文化振興、観光振興、地域振興を目的とし、以下の自主企画事業を実施しその達成に努めた。

①『美濃焼インキュベーション事業』【産業振興事業】

美濃焼の市場開拓と新商品開発を目的に、国内外のレクサス販売店舗を中心に展開される、レクサスのこだわりアイテムを揃えた「レクサスコレクション」に掲載する作家の提案を行った。

・6社10アイテムが掲載。

②『セラパーク楽々市』【地域振興事業】

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響なく、毎月(第4日曜及びその前日の土曜日)開催することができた。多くの地元商店や住民の出店とともに、毎月2日平均で約500名の来場があるなど、多くの来場者があった。

指標① 目標：170,000人 実績：136,676人 達成率：81%

令和6年度	<p>(1)施設の維持管理 設備の保守管理、施設修繕の実施、職員巡視による安全確認の実施、警備の実施、敷地内里山も含む施設の清掃業務の実施、危機管理体制の整備、各種環境衛生管理関係法令の遵守など、24時間365日に渡り施設の安全及び維持管理を適切に実施した。</p> <p>(2)施設の運営・催事誘致活動 貸出施設への催事誘致営業、来館者アンケートの実施、地元陶磁器業界との交流、現代陶芸美術館やレストランとの連携、作陶館の運営、ショップ及びギャラリーの運営、周辺里山での自然観察会の実施など、魅力と活気に溢れる施設づくりに努めた。 [来館者数の推移（現代陶芸美術館含む）] R4年度136,005人 R5年度136,676人 R6年度 225,417人 ※R6は国際陶磁器フェスティバルの開催年</p> <p>(3)自主企画事業 地元産業振興、文化振興、観光振興、地域振興を目的とし、以下の自主企画事業を実施しその達成に努めた。</p> <p>① 『美濃焼インキュベーション事業』【産業振興事業】 美濃焼の市場開拓と新商品開発を目的に、国内外のレクサス販売店舗を中心に展開される、レクサスのこだわりアイテムを揃えた「レクサスコレクション」にこれまで掲載された商品の納品対応等を行った。</p> <p>② 『セラパーク楽々市』【地域振興事業】 令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響なく、毎月（第4日曜及びその前日の土曜日）開催することができた。多くの地元商店や住民の出店とともに、毎月2日平均で約500名の来場があるなど、多くの来場者があった。</p> <p>指標① 目標：170,000人 実績：225,417人 達成率：133%</p>
-------	---

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	セラミックパークMINOは、平成18年度より指定管理者制度を導入しており、現在、公益財団法人セラミックパーク美濃を令和7年度末まで指定管理者として指定している。施設の維持管理及び自主企画事業を実施するためには、指定管理者へ負担金を拠出する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	公益財団法人セラミックパーク美濃は、施設の維持管理・運営を目的として平成11年度に設立され、平成14年度の施設会館以降委託業務受託者、指定管理者(平成18年度～)として、施設の維持管理、運営(施設及び付属施設設備の使用許可並びに利用料金の収受を含む)等を適切に行っている。 セラミックパークMINO指定管理者評価員会議においても、業務を適切に行っているとの評価を得ている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	施設の維持管理経費は、本県と地元3市が一定割合に応じて負担しており県と地元自治体が密接に連携できている。また、行政負担金も指定管理制度導入以来、経費の見直し等により大幅に圧縮している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入、長引く不況による消費力の減退など極めて厳しい状況下にあるため、陶磁器文化・産業振興の拠点であるセラミックパークMINOの魅力を、より一層高めていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか セラミックパークMINO(岐阜県現代陶芸美術館含む)は、美濃焼をテーマに産業・文化振興の拠点として重要な役割を果たしている。今後も地元3市と連携し、本県を代表する地場産業であり、かつ地元の基幹産業でもある美濃焼産業を振興するべく、施設を効果的に維持管理していく。
--